

イベント活動報告書

下記空欄に必要事項(参加状況、運営状況、懇親会等)を記入のうえ、活動実施後10日以内に参加者名簿・写真(集合写真.jpgを含み、2枚以上)を添えて、E-Mail・郵送・FAXで事務局宛に提出をお願い致します。

(屋内サークルの場合、イベント名に記載は不要です)

★本実施状況はホームページに掲載することがありますのでご承知おきください。

		報告者	菊池正美			
サークル名	埼玉会		発信日	2022年6月3日		
イベント名	第64回 東浦和「見沼たんぼ」散策					
活動日	2022年6月2日(木)			天候	晴	
時間	13:00 ~ 16:30					
実施場所	埼玉県さいたま市東浦和					
参加人数 <small>(下段:他地域会)</small>	会員	男:	13名	女:	3名	総計: 16名
	京葉会:	1名	西東京会:	名	神奈川会:	1名 非会員0名

活動状況

1.運営状況

13:00にJR武蔵野線東浦和駅に16名集合。駅前は日陰がなく暑かったので、通船堀公園に移動。この公園の木陰でガイドより、これから案内してもらう場所についての説明を約25分程受ける。通船堀西縁の改修工事の縁を見ながら、「附島氷川女体神社」へ。この社は300年以上前の建物で規模は小さいが意匠が優れおり桃山文化の流れを汲んでいる。祭神は奇稲田姫命(クシナダヒメノミコト)です。次におとずれたのは「鈴木家住宅」で、この鈴木家は1727年に見沼の干拓事業に参加しその功績が認められ、見沼通船堀の完成と同時に幕府から水運利用権が与えられ、通船差配役(船を通す指示役)に就いた。江戸時代後期に作られた母屋(現在住んでいるので中は見ることはできない)や米蔵、ひらた船(1/2の模型)等を見学。さて、今回の一番の目的である通船堀に向かう。この通船堀は西縁と東縁があり、我々は東縁に向かう。1731年に川の水位差を調整して船の運行を可能にするため、木材で造られた堰(せき)を持つ運河(閘門式)で、規模こそ違いますがスエズ運河は1869年開通で約140年前、パナマ運河は1914年開通と約180年前に今の様な土木機器のない時代に人力で造り上げた先人たちに感服致しました。通船堀を出て、途中茶屋で休憩。心地よい風の吹く木陰で冷たい甘酒をいただく。歩いて少し汗をかいたところで、この冷えた飲み物はとてもおいしかった。次の川口自然公園は、広さは約3.2haあり、雑木林などの自然地も含め他の公園には類を見ないほどの自然があり、大変目の保養にもなりました。公園を出て、広大(約100haの広さで東京ドーム2.3杯の洪水を貯める事ができる)な芝川第一調節池の東縁を歩き、終点の浦和くらしの博物館に着く。16:30を少し過ぎていたので、この館の見学(16:00前に着く予定であったが)はできなかった。本日は約18000歩、良く歩きました。念仏橋17:02発のバスに乗り、浦和駅に向かった。

2.懇親会

「魚屋一丁」浦和店
10名参加。本日は、良く歩いたのでビールが大変おいしかった。参加された皆さんとも話が弾み良い一時を過ごせました。

送付先(郵送) 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-17-13 TMYビル10F

FAX番号 03-6240-9382 Eメール jarip@isis.ocn.ne.jp

記念写真(1) 王子・飛鳥山公園「渋沢栄一の郷」



見沼たんぼ(通船堀公園) / 氷川女体神社

